

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 530

事務事業名	大村市公民館連絡協議会補助金
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	白濱 幸	内線	84-154

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060301	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり
施策		地域コミュニティの活性化
関連施策		

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	050300	大村市公民館連絡協議会補助金

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 大村市公民館連絡協議会及び町内公民館(127館)		
意図	対象をどのような状態にしたいか 町内公民館長及び公民館役員に、公民館の役割や活動・事業等についての学びの場や資質向上のための研修の機会を設け、町内公民館活動の活性化を図りながら、明るく住みよい地域づくりにつなげる。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 町内公民館長及び公民館役員を対象とした研修会、公民館大会、視察研修や地区別研修会等を行う大村市公民館連絡協議会に補助金を交付し、活動助成を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 補助
根拠法令、要綱等	大村市社会教育振興費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 研修会等の回数	計画値	20	20	20	20	平成27年度内訳市公連研修会等4回 県公民館大会1回 地区別研修会13回
		実績値	19	18	18		
		達成度	%	95.0%	90.0%	90.0%	
成果指標	① 研修会への参加者数	計画値	700	700	700	700	
		実績値	710	821	616		
		達成度	%	101.4%	117.3%	88.0%	
②	研修会における満足度	計画値	90	90	90	90	総会、研修会、公民館大会の運営についての肯定的評価
		実績値	96	98	98		
		達成度	%	106.7%	108.9%	108.9%	
		アンケート結果から					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
② 人件費(千円)	1,135	1,058	993	1,035	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.13	0.13	0.13	0.13	公民館大会、館長研修、地区別研修、視察研修、県・九州公民館大会への参加	公民館大会、館長研修、地区別研修、視察研修、県・九州公民館大会への参加	公民館大会、館長研修、地区別研修、視察研修、県・九州公民館大会への参加	
時間外勤務(時間)	51	38	38	45				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,635	3,558	3,493	3,535				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	町内公民館活動は、活力のある住みよい地域づくりの促進だけでなく、市の活性化にもつながる重要な活動である。平成27年度に、(財)自治総合センターのコミュニティ助成金(一般コミュニティ助成事業)により、プロジェクター等備品の購入した。今後、主に市公民館連絡協議会、各地区公民館連絡協議会での研修会等に利用するとともに、各町内公民館へも周知を図り貸出しを可能とし、活動の更なる活性化に繋げていきたいと考えている。
事業が抱える問題・課題等	住民の自治意識や地域コミュニティへの帰属意識が希薄化している現在、多くの町内公民館の利用者は、年々減少しており、各町内・各公民館で利用者減に対する対策を講ずる必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	町内公民館は、地域住民の学習や話し合い、社会参加活動の拠点として、その果たすべき役割は益々重要になっている。その中核的役割を担っている本協議会の活動を積極的に支援することは、生涯学習の推進にとどまらず、明るく、豊かで、住みよい地域づくりの促進につながる。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
生涯学習の推進を図り、人と人のつながり、地域の絆をより深めながら、活力のある住みよい地域づくりを促進するためにも、町内公民館活動の活性化を図ることは大変重要であり、市民との協働によるまちづくりに努めていく市の関与は妥当である。							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	各研修会参加者数は90%以下であったが、肯定的評価は98%と高いものであった。今後も館長及び役員にとって有益で魅力ある研修会となるよう、研修内容の検討、連絡体制の強化、加えて広報・周知活動等の充実を図りたい。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
本事業で、町内公民館活動の拡充や内容の充実が図られるなど、生涯学習の拠点としての役割を果たしており、その効果は高い。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	事業費の対象である各研修会では、特に資料が多く、多大なページ数・部数となるが、印刷・製本などすべての準備を事務局で行うなど工夫しており、これ以上のコスト削減の余地はない。平成27年度にコミュニティ助成事業による助成を受け備品を購入しているが、この助成金は100%の補助率であり、公民館連絡協議会からの支出はない。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
町内公民館は、基本的には建物の維持管理、事業や活動の運営も地域住民の会費で賄われており、市の補助金が縮小されると会費の負担増となり、組織運営にも支障が生じる。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	人と人のつながり、地域の絆の大切さが改めて見直されている今、町内公民館には地域住民の生涯学習の拠点として、「まなぶ・あつまる・つなぐ・そだてる」という、基本的な4つの役割りを果たすことができるよう、管理運営を行う公民館長の育成、組織の強化を図ることを目的とした研修等を引き続き行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。